

緑の打吹山のふもとに広がる白壁の土蔵群。鳥取県倉吉市の商工会が昨年、約800万円を使って一般車両を改造した電気自動車「れとろん」を投入。観光客を無料で案内するガイドツアーが行われている。倉吉の魅力をギュッとまとめて紹介してくれ人気だ。

ガイド兼ドライバーを1人で務めているのが岡留明さん(61)。「まずは、留明さん(61)」。まずは、ぐるりと回って見ましょつか」。赤瓦が印象的な倉吉観光案内所を出発し、倉吉の街並みを巡るドライブが始まった。



白壁土蔵群が美しい玉川沿いを紹介する岡留さん(手前)と「れとろん」



「おやきやおやき」の店内では、七輪を使って自分でおやきを焼くことができる

ヒロインの1人と偶然出会った玉川沿いの「寅さんスポット」。打吹山をバックに白壁土蔵群が並ぶ、倉吉を象徴する名所の一つだ。続いて、曹洞宗の由緒ある寺「大岳院」を通り、柱からこま犬が飛び出す珍しい門が特徴的。「南総里見八犬伝」

# 白壁土蔵群・赤瓦周辺

(鳥取県倉吉市)

## 古い街並み「今」と共存

のモデルとなった。だがこの程度で驚いてはいけな。次はここです。民家に見えぬ古そうな建物の前で見ると「女湯」「男湯」の文字が。明治創業で市内唯一の銭湯「大社湯」。昭和の香りを残すたたずまいは、タイムスリップしてしまったかのような錯覚を覚える。「せんとくん」をデザインした敷内佐斗司さんによると、大岳院などの彫刻群が並ぶ。隣に何気なく建つ公衆トイレは、1987年に清潔さや機能性が評価され日本一に輝いた「さわやかトイレ」。和風で統一された外観が、街並みに溶け込んでいる。れとろんは月、金土、日曜の午前9時半〜午後4時ごろまで。7月から観光ガイドが1人増え2人体制となり、無休で運行される予定。問い合わせは、岡留さん(090・1185・9151)。

【田中将隆】



「寅さんスポット」からは、白壁土蔵越しの打吹山が良く見える

### メモ

白壁土蔵群・赤瓦周辺地域を中心とした街並みは、打吹山(標高204m)に築かれた打吹城の城下町が原形になったとされる。江戸中期から昭和前期ごろに建てられたとされる建造物が数多く残っている。町を横切る玉川沿いには白壁土蔵が並び、周辺の屋根に使われている「赤瓦」とともに風情ある空間が広がる。山陰の小京都とも。食事どころや雑貨店、歴史ある建造物など50力以上の観光スポットが約2km圏内にあり、徒歩で回れずともコンパクトさも魅力となっている。